図４：５世紀以降　仁徳期の治水事業により、河内湖の水域が減少するとともに、流入している大和川枝川等が河口に三角州をつくります。そして湿地・草原あるいは堤防敷となり、その後、河内低地の陸地化が始まります。

[in 古代大阪の変遷｜水都大阪 https://www.suito-osaka.jp › history › history_2[10]]

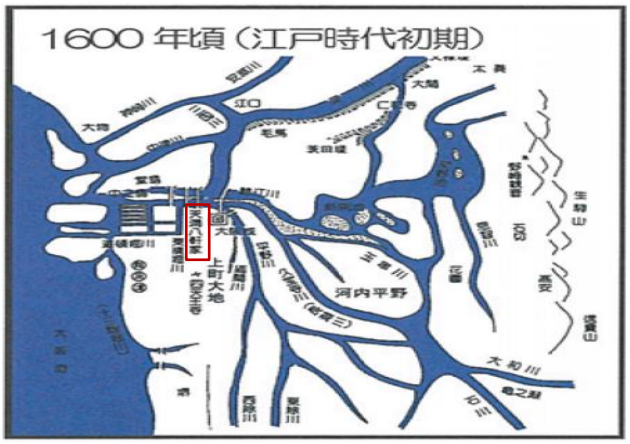

図５［**赤枠：天満八軒家**］

図６　注)現在の地形に汀線を重ね合わせています。